

# 三新田神社に 大しめ縄奉納



木造地区の木作町内会(白戸英行会長)が12月20日、三新田神社に大しめ縄と三十三俵を奉納しました。同町内会の奉納は1992(平成4)年に復活して以来、今回で18回目。しめ縄は11月上旬から製作に取り掛かり、長さ約50㍎、重さ約300㍎。町内会員らは、しめ縄と三十三俵を手際よく積み上げ、中央には寅を描いた絵馬を飾り、つがる市登山囃子保存会が登山ばやしと下山ばやしを演奏して奉納を祝いました。

白戸会長は「町内会や商店街のみなさんの協力で今年も奉納できました。新年がいい年でありますようお願いしています」と話していました。



# 津軽屏風山彫干支絵馬



電動糸のこで寅の形に切り抜く作業は妙技に尽きる



1981(昭和56)年から干支絵馬の製作を続けている長内正春さん(木造出来島)の工房で寅の絵馬作りが始まり、県内外の購入者へ届けられています。

長内さんが製作している絵馬は、大きさが縦14㍎、横21㍎、厚さ13㍎。青森ヒバを利用したほのかな香りと一枚一枚に真心が込められた絵馬は、災厄を吹き飛ばしてくれることでしょう。